

連絡先：警備救難部国際刑事課 専門官 辰巳屋 誠
電話：3581 - 1701（直通）
3591 - 6361 内線 5551



平成24年 1月30日
海上保安庁

日印連携訓練の実施について

海上保安庁巡視船とインド沿岸警備隊巡視船との間で ソマリア海賊等に対する海賊対処等の連携訓練を実施

1月29日（日）インド・チェンナイ港沖において、インドに派遣中の海上保安庁巡視船とインド沿岸警備隊巡視船との間で連携訓練が行われ、インド訪問中の鈴木久泰海上保安庁長官が、インド沿岸警備隊長官（ムラリダラン長官）とともに本訓練を視察しました。

鈴木長官とムラリダラン長官は、1月27日（金）に行われた日印海上保安長官級会合においてソマリア海賊からの日本関係船舶の安全確保のためのインド沿岸警備隊との連携強化の具体策について合意しており、本訓練はこのようなソマリア海賊を含む海賊対策の一環として実施されたものです。

海上保安庁とインド沿岸警備隊は、平成11年10月のアロンドラ・レインボー号事件を契機として、平成12年以降、長官級会合の開催を原則年一回実施してきており、今回はこれにあわせて当庁巡視船を派遣して連携訓練を行ったものです。

1 訓練日時・場所

平成24年1月29日（日） 於インド・チェンナイ港沖

2 参加船艇等

（1）海上保安庁

巡視船せつつ（神戸海上保安部所属）

巡視船せつつ搭載機（回転翼1機）

（2）インド沿岸警備隊

巡視船艇10隻、航空機4機（固定翼2機、回転翼2機）

（3）ReCCAP（アジア海賊対策地域協力協定）情報共有センター（人員のみ）

3 訓練内容

- (1) 個別展示訓練 (油防除、搜索救助、日印両機関回転翼機による双方巡視船への相互離着船など)
- (2) 海賊対処訓練 (公海上において、海賊によりハイジャックされた日本関係船舶に対し日印双方の巡視船等が対応するとしたシナリオ訓練)



個別展示訓練



海賊対処訓練



日印両長官による視閲